

ロシアのウクライナ軍事侵攻に対するとりくみ
日常や大切なものが奪われる悲劇を繰り返してはならない!

2月24日にロシアはウクライナ侵攻を開始した。ロシアは親ロシア派武装勢力を実行支配しているウクライナ東部地域の住民を守るためにとしていたが、戦闘地帯は、ウクライナ全土に広がり、軍事施設への攻撃にとどまらず、子どもの犠牲者も多数出ていると報道されている。ウクライナ東部地域の独立承認や軍事侵攻等の行為はウクライナ領土と主権を侵害し、国際秩序を乱し、平和解決を義務付ける国際法に著しく反するものである。

また、安倍元首相はこのとどまらず、子どもの犠牲者も多数出ていると報道されている。ウクライナ東部地域の独立承認や軍事侵攻等の行為はウクライナ領土と主権を侵害し、国際秩序を乱し、平和解決を義務付ける国際法に著しく反するものである。

よう中、「NATO加盟国」の一部が採用している米国の核の共同運用を日本も検討すべき」と主張している。一部の政治家は「自國は自国で守るというスタンスがなければ、日本もウクライナと同じようなことに

なる」とし、憲法9条の改

憲議論に拍車をかけようと

している。

兵教組は、いかなる理由

があろうとも軍事的行動を

断じて許すことはできな

い。ロシアの軍事侵攻を厳

しく非難し、即時の作戦中止と撤退を強くもとめる。

兵教組教育文化・社会貢献事業

車椅子支援事業・児童養護施設等支援事業

今年度も(一財)兵庫県学校厚生会、(二財)兵庫県教育会館、(公財)日本教育公務員弘済会兵庫支部との共催で、「車椅子支援事業」「児童養護施設等支援事業」をすすめてきた。

今年度の寄贈式は新型コロナウイルス感染症拡大防

止の観点から中止とし、直

接学校を訪問し、車椅子1台を寄贈した。また児童養

護施設等支援では、神戸朝鮮初中級学校、神戸朝鮮高級学校、西播朝鮮初中級学校の3校に支援をおこなつた。

今年度の寄贈式は新型コ

ロナウイルス感染症拡大防

止の観点から中止とし、直

接学校を訪問し、車椅子1台を寄贈した。また児童養

護施設等支援では、神戸朝

鮮初中級学校、神戸朝鮮高

級学校、西播朝鮮初中級学

校の3校に支援をおこなつた。

今年度の寄贈式は新型コ

ロナウイルス感染症拡大防

止の観点から中止とし、直

接学校を訪問し、車椅子1台を寄贈した。また児童養

護施設等支援では、神戸朝

鮮初中級学校、神戸朝鮮高